



## 2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4997 URL http://www.nichino.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 永井 統尋 (TEL) 03-6361-1400  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	11,608	1.2	△236	—	△150	—	△201	—
2018年9月期第1四半期	11,468	△10.5	△404	—	△237	—	△223	—

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 △968百万円(—%) 2018年9月期第1四半期 516百万円(△78.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	△2.56	—
2018年9月期第1四半期	△3.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	96,202	56,005	56.2
2018年9月期	98,003	57,576	56.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 54,046百万円 2018年9月期 55,662百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	5.5	3,600	△3.6	3,600	△9.0	2,000	△20.8	25.39
通期	68,000	11.1	3,800	△8.9	3,400	△6.9	2,500	△0.3	31.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	81,967,082株	2018年9月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	3,191,205株	2018年9月期	3,190,978株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	78,775,936株	2018年9月期1Q	66,836,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な企業収益を背景に雇用情勢が改善し個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは、長期化する米中間の貿易摩擦が当事国のみならず世界経済へ与える影響が懸念されるなど、依然不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは今期を初年度とする新中期経営計画「Ensuring Growing Global(EGG2021) グローインググローバルを確実に！」に取り組み、収益性の向上とグループ力強化を目指しております。

当社グループの第1四半期業績は、中核事業である農薬事業が不需要期にあたる季節的要因から売上高、利益とも低い水準に止まる傾向があります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、116億8百万円（前年同期比1億39百万円増、同1.2%増）となりました。利益面では、営業利益は△2億36百万円（前年同期比1億68百万円増）、経常利益は△1億50百万円（前年同期比86百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は△2億1百万円（前年同期比21百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

#### [農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」や前期より販売を開始した園芸用殺菌剤「バレード」を始めとする自社開発品目の普及拡大に努めました。また、農薬原体販売では園芸用殺虫剤「コテツ」、「コルト」などの当用期に向けた販社への荷動きが早まり、国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、北米ならびに欧州地域の売上高が好調に推移しました。一方、アジア地域は、天候不順や病害虫の小発生による過年度の在庫調整などから販売が伸び悩み、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は104億99百万円（前年同期比92百万円増、同0.9%増）となりました。営業利益は△3億21百万円（前年同期比63百万円増）となりました。

#### [農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の販売が堅調に推移しました。

医薬品事業では、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の爪白癬分野での売上高が伸長しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は7億41百万円（前年同期比18百万円増、同2.6%増）となり、営業利益は2億13百万円（前年同期比59百万円増、同38.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億円減少し、962億2百万円となりました。これは、たな卸資産の増加を上回る現金及び預金、売上債権並びに投資有価証券の減少が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少し、401億97百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加を上回る未払法人税等及び流動負債その他（主に未払費用）等の減少が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億71百万円減少し、560億5百万円となりました。これは、四半期純損失及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少並びにその他有価証券評価差額金等のその他の包括利益累計額の減少が主な要因です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,889	14,288
受取手形及び売掛金	21,986	19,317
電子記録債権	1,817	1,047
商品及び製品	11,518	16,583
仕掛品	849	943
原材料及び貯蔵品	5,859	7,515
その他	2,940	3,357
貸倒引当金	△455	△449
流動資産合計	63,405	62,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,294	5,254
機械装置及び運搬具（純額）	3,688	3,742
土地	6,126	6,129
その他（純額）	948	711
有形固定資産合計	16,056	15,838
無形固定資産		
のれん	5,625	5,527
その他	1,218	1,172
無形固定資産合計	6,844	6,700
投資その他の資産		
投資有価証券	5,618	5,047
親会社株式	1,539	1,257
その他	4,554	4,771
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	11,697	11,060
固定資産合計	34,597	33,599
資産合計	98,003	96,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,610	12,688
電子記録債務	776	966
短期借入金	6,261	6,986
未払法人税等	715	303
賞与引当金	734	362
環境対策引当金	778	778
その他の引当金	68	39
営業外電子記録債務	89	181
その他	6,783	5,210
流動負債合計	26,818	27,517
固定負債		
社債	1,710	1,694
長期借入金	8,639	7,976
退職給付に係る負債	756	764
その他の引当金	54	40
その他	2,447	2,203
固定負債合計	13,608	12,679
負債合計	40,427	40,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,057	15,057
利益剰余金	28,571	27,779
自己株式	△1,727	△1,727
株主資本合計	56,840	56,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,981	1,347
為替換算調整勘定	△3,477	△3,661
退職給付に係る調整累計額	317	313
その他の包括利益累計額合計	△1,178	△2,001
非支配株主持分	1,913	1,958
純資産合計	57,576	56,005
負債純資産合計	98,003	96,202

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	11,468	11,608
売上原価	7,691	7,567
売上総利益	3,777	4,041
販売費及び一般管理費	4,182	4,277
営業損失(△)	△404	△236
営業外収益		
受取利息	53	51
受取配当金	43	53
不動産賃貸料	20	19
為替差益	177	—
持分法による投資利益	140	131
デリバティブ評価益	—	57
その他	62	41
営業外収益合計	496	354
営業外費用		
支払利息	135	125
為替差損	—	102
デリバティブ評価損	134	—
その他	59	40
営業外費用合計	329	268
経常損失(△)	△237	△150
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産処分損	3	3
製品回収関連費用	57	—
特別損失合計	61	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△289	△153
法人税等	△250	△33
四半期純損失(△)	△39	△120
非支配株主に帰属する四半期純利益	184	81
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223	△201

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△39	△120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△634
為替換算調整勘定	543	△140
退職給付に係る調整額	△1	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△50	△69
その他の包括利益合計	556	△848
四半期包括利益	516	△968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143	△1,024
非支配株主に係る四半期包括利益	373	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,406	723	11,129	339	11,468	—	11,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	1	189	190	△190	—
計	10,407	723	11,131	528	11,659	△190	11,468
セグメント利益又は損失(△)	△384	153	△231	32	△198	△205	△404

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△205百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,499	741	11,240	367	11,608	—	11,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	1	194	195	△195	—
計	10,500	742	11,242	562	11,804	△195	11,608
セグメント利益又は損失(△)	△321	213	△107	60	△47	△188	△236

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△188百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△188百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。